

韓国慶尚北道サマーキャンプに参加して

安田女子大学2年 板野 七海

韓国語がまったく話せず、参加者には日本人の友人や知人がいないという状況の中で、サマーキャンプへの参加が決まったとき、私は大きな期待と同時に不安も抱えていました。言葉の壁や文化の違いに戸惑うかもしれないという思いがありましたが、それ以上に新しい環境で自分を試してみたいという気持ちが強く、胸を高鳴らせながら参加を決意しました。

私がこのプログラムに参加した最大の目的は、英語を使ってさまざまな国の人々と積極的にコミュニケーションを取ることでした。実際に、インドネシア、中国、ベトナム、タイなど多様な国から来た参加者たちと交流する中で、互いの文化や言語を教え合ったり、韓国に興味を持った理由や英語を学ぶ背景などについて語り合ったりすることができました。国籍や言語の違いを超えて、共通の関心や価値観を見つけることができた瞬間は、非常に感動的で、心が通じ合う喜びを実感しました。

参加者の多くは、前向きで心優しい性格で、志が高く、優れた才能を持っていて、彼らとの会話を通じて自分自身も刺激を受けました。異なる考え方や価値観に触れることで、自分の視野が広がり、より柔軟な思考ができるようになったと感じています。彼らの姿勢や努力から学ぶことも多く、尊敬の念を抱くと同時に、自分ももっと成長したいという意欲が湧きました。

また、キャンプ中にはいくつかの都市の観光地を訪れ、韓国料理を味わう機会もありました。これまで韓国といえば首都ソウルしか思い浮かばなかった私にとって、地方都市の魅力や自然の美しさ、人々の温かさに触れることで、韓国への理解と愛着が深まりました。先生方の韓国語の授業にも触れ、言語としての韓国語に興味を持つようになり、今後学んでみたいという気持ちが芽生えました。

この経験を通じて、国際交流の素晴らしさを改めて実感し、海外に出ることで得られる刺激や学びの大きさを強く感じました。今後もこのような機会があれば積極的に参加し、異文化に触れながら自分自身をより一層高めていきたいと思えます。そして、参加国のインドネシア、中国、ベトナム、タイ全ての国を訪れたいという夢ができました。このように、このサマーキャンプは私にとってかけがえのない経験となり、人生の大きな一歩とな

りました。